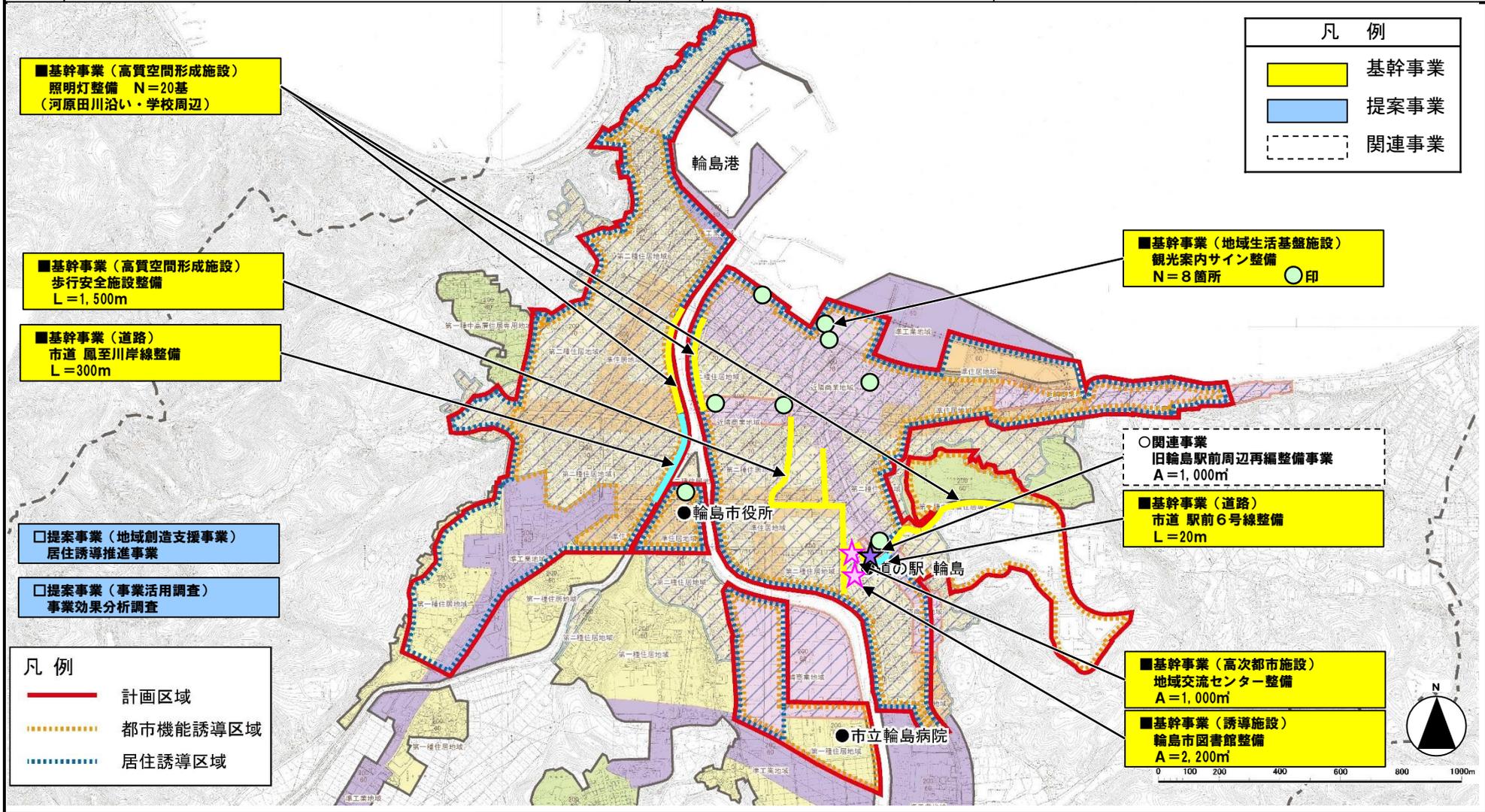


輪島中心拠点地区(石川県輪島市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 住む人も訪れる人も歴史・文化にふれあいながら、快適に心地よく過ごせる中心拠点の形成	代表的な指標	文化会館・図書館利用者数 (人/年)	要集計 (令和4年度) → 集計後設定 (令和10年度)
	目標1: 老朽化が進んでいる公共施設のリニューアルによる学びと文化活動の拠点づくり		交通事故件数 (件/年)	要集計 (令和5年度) → 集計後設定 (令和10年度)
	目標2: 安全、安心、快適にまちなかを楽しめるウォーカブルな空間づくり		居住誘導区域内人口比率 (%)	要集計 (令和4年度) → 集計後設定 (令和10年度)
	目標3: まちなか暮らしを支える生活環境づくり			



# 新図書館 整備箇所 比較表(5案比較)

20230202都市再生検討委員会資料



## 【条件設定】

- 暫定的に図書館規模を設定 蔵書数:15万冊(奥能登最大級)、のべ床面積:3,000㎡程度(蔵書数等より逆算)
- 現在、文化会館に設置されている小ホールや会議室等のコンベンション機能を地域交流スペースとして併設
- 整備エリアは、教育施設が集中しつつ交通結節点である旧輪島駅(道の駅輪島)周辺エリアとする

以上の条件により、整備箇所の検討を行う



	①案 既存施設の活用に重点を置いた案	②案 文化会館敷地内で新築を考えた案	③案 道の駅と大ホールの有効活用に主眼を置いた案	④案 道の駅周辺のオープンスペースに建設する案	⑤案 道の駅周辺のオープンスペースに建設する案
概要	・現在の事務所棟を改修 ・耐震性不足のため耐震工事必要 ・施設老朽化のため対策工事必要	・文化会館敷地の駐車場に新築 ・大ホールは残す ・事務所棟は撤去	・ふらっと訪夢南側の遊休地に新築 ・大ホールは残す(事務所棟撤去も可能)	・健康ふれあい広場に新築	・旧東屋跡地に新築
アクセス性	・現在と変更なし ○	・現在とほぼ変更なし ○	・現在とほぼ変更なし ◎ ・ロータリーから直接アクセス可能	・道の駅から県道を横断してアクセス △	・道の駅から県道を横断してアクセス × ・前面道路の交通量多い
駐車場	・現在と変更なし ○	・事務所棟取壊で駐車場確保 ・駐車台数は現在と同等 ・駐車場の形が不整形 △	・事務所棟取壊で駐車場確保も可能 ◎ ・現駐車場と同等もしくは大きくなる ・駐車場の形が整っている	・十分な駐車台数確保が困難 ×	・駐車場の確保が非常に困難→(道の駅・健康ふれあい広場)から徒歩 ×
建設地	・現在と変更なし △	・文化会館敷地内 △	・市有の遊休地。 ○	・公園用地 ×	・市有の遊休地 ○
工事実施時の状況	・現図書館を利用しながらの工事は不可 ×	・現図書館を利用しながらの工事は可能であるが、駐車場を別場所で確保必要。 △	・現図書館を利用しながら工事可能 ○	・現図書館を利用しながら工事可能 ○	・現図書館を利用しながら工事可能 ○
利点	・図書館の場所が変わらず混乱が少ない △	・図書館の場所が変わらず混乱が少ない △	・図書館の場所がほぼ変わらず混乱が少ない ◎ ・大ホール及びふらっと訪夢と連絡が容易→(一体的な利用可能) ・遊休地の有効活用 ・街並み景観との連続性を確保することができる ・図書館のある道の駅となる	・一本松公園に隣接し、交通量も少なく静かな環境 ○	・県道沿いである ○ ・街並み景観との連続性を確保することができる ○
欠点	・建築面積を確保しにくい(現床面積700㎡) × ・建物の老朽化 ・耐震壁により自由なレイアウトが困難	・建築面積を確保しにくい △ ・大ホールやふらっと訪夢と離れる→(連絡通路等の一体的な利用困難)	・特になし ○	・公園が無くなる × ・大ホールやふらっと訪夢と離れる ・がけ地条例による不自由有り ・市道の道路改良が必要	・建築面積を確保しにくい(現面積350㎡程度) × ・隣接の物件補償等が必要となる可能性大 ・大ホールやふらっと訪夢と離れる ・がけ地条例により不自由有り
建築される図書館	・3階以上の多層階図書館となる可能性が高い △	・3階以上の多層階図書館となる可能性が高い △	・2階以下で図書館規模を満足できる可能性が高い ○	・2階以下で図書館規模を満足できる可能性が高い ○	・建築面積の確保が困難で多層階図書館になる可能性が最も高い ×
(参考) 推定事業費	25.7 億円 ×	22.3 億円 ○	22.8 億円 ○	23.8 億円 △	23.8 億円 △
総合評価	最も高額であるにも関わらず、耐震壁による弊害や多層階の図書館となるなどデメリットが多い。さらには建物老朽化による維持管理費を考えると採用は困難 △	図書館のみが離れた位置となり一体的な利用が困難となる。また駐車場が非常にわかりにくい位置となる。 ○	欠点がない以外にも、周辺施設と連絡通路を設けることで、一体的な利用が可能となるなど付加価値も多い。 ◎	交通結節点からの距離が最も遠く、隣接で確保できる駐車スペースも少ない。旧駅前周辺で唯一の公園が無くなることは大きなデメリットであり、代替の公園整備も検討が必要となる。 ○	駐車スペースや動線を考慮すると採用は困難 △

